

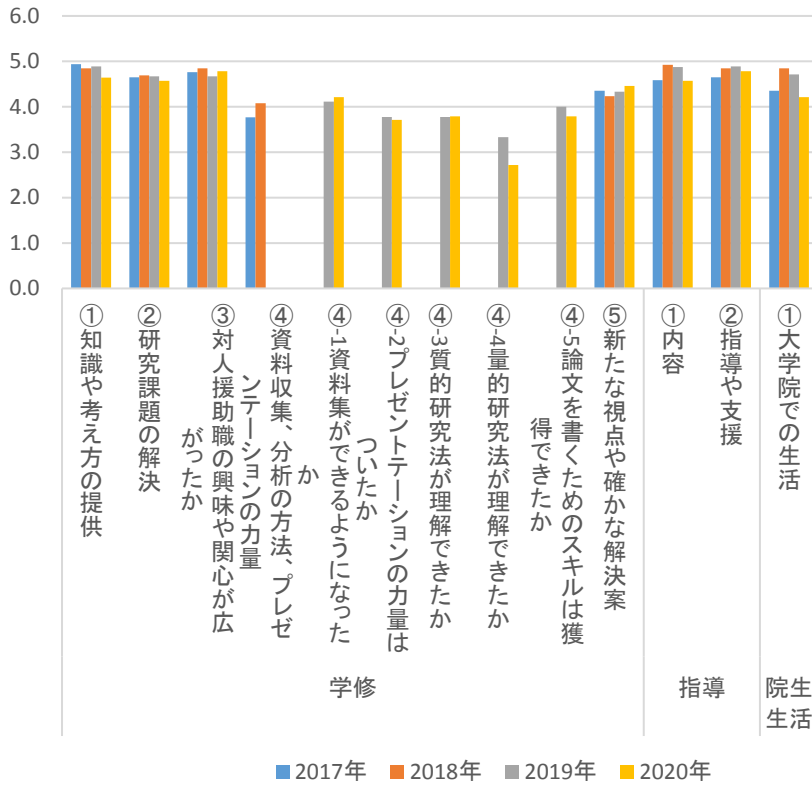
大問	小問	平均値	評価の具体的内容	教員からのコメント／改善の方法
学修を振り返って	①新たな知識や考え方を提供したか。	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・社会で起こっている様々なことを多様な視点で捉えたいと考えるようになった。また、背景について思いをはせるようになった。 ・そもそも研究とは？とか、科学的にということはどういうことなのかとか、根本的なところを教わり、大変有益であった。 ・自分の専門分野だけの視点だけの視点だけでなく、先生方や同期とのディスカッションの中で新たな気づきや考え方等を知ることができた。特に胎児援助に関しては相手に何かを提供しなければ…となりがちだが、支援する側も模索しながら成長するという、努力をするということでのだということとは大きな気づきとなりました。 ・総合的に物事を捉える力。自分の考えや思いを他者に伝える力。 ・考え方を整理する方法を教わりました。 ・研究の方法、流れについて自分なりに理解した。 ・自分が経験してきたこと以外の心理や福祉について多く知ることができた。 ・今の職に関係する法律、なぜ今このような制度になったかの根拠を調べることで、主観ではなくて根拠があることを理解できたこと。 ・論文の書き方や章立てについて学ぶことができました。 ・自分の実践が理論的に学びなおせたことが最大の喜びでした。 	<p>複数の学問分野から成る学際的な臨床教育学ですから、これまでに学んだことのない分野の授業がかなりあったと思います。なかなか理解するのに大変ではなかったでしょうか。それゆえに、理解できたことの喜びも大きかったでしょう。</p> <p>新たに得たことをどう自分のものにしていくのか。皆さんの今後の課題でもあります。</p>
	②専門分野の問題や研究課題の解決に活用できたか	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事を振り返り、今後より目標を持てるようになった。 ・まだまだ研究の門を叩いた程度であると認識できたところが良かった。 ・今まで実践現場で語られることはあってもそれを言葉にして整理することができたこと。改めて、とらえ直したり、またそれを活用したりすることにつながったと思います。 ・知りたいと思っていたことを知ることができた。幼児教育を広く捉え、職場で学生と共に考えることができた。 ・難しいと感じる保護者対応に対する関わり方を学ぶことができた。人と人がつながっていくことやその難しさの背景にあるものを知ることができた。 ・今、行っている保育について客観的に分析できたこと。 ・興味がある分野の書物や論文を多く紹介していただいた。 	<p>社会人大学院ですので、各自の専門領域における実践上の課題についてともに考え、役立てるように支援していくことが目指すことの一つです。現場で役立つ専門知識や技術にも触れたでしょう。また、授業を通して他職種との考え方や視点の違いに興味をもち、専門職同士で交流ができたことは大変素晴らしいことです。</p> <p>研究科で目指すのは単なる技術習得や身近な課題解決ではありません。課題を取り巻いている背景を考察し、理論的な視点をもって取り組む学術的な研究である必要があります。難しい課題ですが、実践を行う上で、学術的な視点をしっかり持つことが重要です。</p>

③対人援助職の広範な取り組みに興味や関心が広がったか	4.8	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な職種・年齢の方と意見交流をすることで、違いというよりは、根本的に人としてどうあるべきか問うところに関心が広がった。 ・さまざまな経験により捉え方、考え方があることに興味関心が広まった。 ・研究の過程で新たに気になる点や知りたいと思うことも出てきたので、次の研究へと繋げたいと思います。実践現場の今だけでなく、過去や未来がどうなのかという事にも興味が広がりました。 ・様々な分野の方がいて、色んな考え方や視点の違いを感じて参考になった。／・他職にも興味が持てるようになった。 ・他の分野における問題点や考え方等に触れることができた。 ・専門ごとの知識を教授していただき、自分に向き合うことができました。 	
①資料集めができるようになったか	4.2		<p>授業での発表、レポート作成に始まり、M2では全体特研や中間発表、修士論文の作成、最後に口頭試問でのプレゼンを皆さんは経験しました。さぞかし大変であったでしょうが、これらをこなす中で、資料収集とまとめ、レジュメづくりやpptを用いたプレゼンの仕方などを身につけていきました。同期から学ぶことも多かったでしょう。苦勞された分、今後、様々な機会で役立つと思います。</p>
②プレゼンテーションの力量はついたか	3.7		
③質的研究法が理解できたか	3.8		<p>方法論の修得には時間がかかります。特に統計は一朝一夕に修得できるものではありません。何か一つでも自分で得意と言える方法論を身につけてください。 専攻としても、研究の基礎である方法論の授業に力を入れていきたいと考えています。</p>
④量的研究法が理解できたか	2.7		
⑤論文を書くためのスキルは獲得できたか	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に理解してもらえるような表現、文章の構成。目的の沿って文章を構成すること。自分の思いだけではなく根拠を示すこと。 ・適切な資料の収集、そして他の人が読んでも理解できるよう丁寧に書き上げると言う部分です。／根拠となることは何なのか探ること。 ・論文を書くことで客観的な見方が出来るようになった。プレゼンによってさらに考えをまとめることができるようになった。 ・広く情報を集める収拾した資料を読み解き、書き手の思いを深く捉えてみようとする意識。 ・分析方法、論文の書き方、手順、研究の進め方 ／・科学的研究の方法論 ・情報収集したことをテーマにそってまとめていくこと。 ・研究とは無縁だった自分が研究に関心を持てるようになったこと。論文を読もうと思うようになった。 	<p>初めて臨む学术论文である修士論文の作成はさぞかし大変であったでしょう。そのため、少し厳しい評価になったのかもしれませんが。学位論文の作成ですので、厳しい指摘もあったでしょうが、研究の基礎を身につけるためであることをご理解ください。 これを身につけると、今後、様々な場面で役立つと思います。また継続して行うことが重要ですので、どのような形であれ、書くことを続けていってください。</p>

	現場で生じる様々な課題や問題についての新たな視点や確かな解決案が考えられたか	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の方法についてさらに学んでいきたい。その学び方を知りたい(本を読むだけではわからないところ)。 ・一方的な考えをおしすすめるのではなく、先行者の意見など広く情報を集める。 ・さらに問題意識が強まった。 ・小人数での話し合い／チームとして課題解決に向かうこと。 ・他の院生の課題から多くのヒントがあった。 ・根拠をおさえること(の大切さ)。 	ピンポイントで役立つ、解決につながるものを得ることは難しいでしょう。自分の臨床の場を分析し、ここで得た様々な知見を集めて総合的に検討し、実践してみるしかない。そのヒントが少しでも提供できていれば幸いです。
授業や研究指導について	①大学院の授業は充実した内容だったか	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数で先生方と近くまた色々な立場の人から意見を聞くことができた。 ・ゼミの時間が心から充実し楽しめ、学んだ。論文を読み解く方法を丁寧に教えていただいた。 ・図書館の活用ができ良かったと思います。 ・先生やクラスメイトと交流が深められた。 ・履修したい科目が6限のみの設定であったり、重なっていたりと受講できないものがあった。 ・自分の研究分野以外の科目をもっと受講できれば良かったと思いますが、時間的にも限界がありました。今後、科目履修等でさらに学びの機会があれば願っています。 ・授業はすべて興味深いものでした。疲れを感じない程楽しかったです。強いて言えば、他の職種の人やディスカッションなどももっともったしたかったです。 	<p>様々な課題(赤字)が出されています。開講科目の設定は開設以来の課題でもあります。夜間大学院故、一日に2コマ(6限と7限)しか授業は設定できません。教員の出勤日や他の担当授業との関係で、同じ時間帯に複数の授業を入れざるを得なかったり、6限のみの設定になったりしています。特に、6限の設定にすると、授業に間に合わない学生さんも少なくないようです。できるだけ重複がないよう、時間割を組んでいます。</p> <p>所属ゼミ以外の同期生とのディスカッションや交流はどうしても機会が限られてしまいます。学生同士の自主学習会のようなものの創設を促す等、工夫をまいります。</p>
	②研究に対する指導教員の指導やゼミの院生の支援は、充実していたか	4.8	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人学生用に一から指導していただきました。お忙しい中、いつも素早く添削してくださり、とても勉強になりました。人が読みやすい文章…とても勉強になりました。 ・いつも丁寧に、まとまりのない話を聞いてくださった。また、研究の道筋を教えていただいた。 ・公私ともに物心両面からのサポートをしていただき、感謝に尽きない。／自分の考えや意見に対して真剣に向き合ってくれた。 ・論文作成にあたり丁寧に指導いただきました。ありがとうございました。 ・実践現場で対応しうるアドバイスが頂けて良かった。 ・先生やゼミ生との出会い 	教員により指導の仕方は異なります。また専門分野の違いにより、違和感を持たれることもあるかと思えます。皆さんの要望や疑問を遠慮なく教員に伝えてください。

大 院 生 生 活 に つ い て	①大学院での生活(授業や研究の環境も含め)は、充実していたか。	4.2	<p>・仕事の現場を離れて、多くの他職種の人々と出会え、様々な知見にふれたこと。／・みんな(クラスメート)で学食に行ったり、しゃべったり、図書館で本を借りたり、学生生活は楽しかったです。よく笑った大学生活でした。社会人となり(クラスメート)としての出会いは、思いやりももて、又新しい友達ができました。／・先輩や同期の異職種との意見から刺激をもらえて良かったと思います。／・仲間が異業種であり、そのことがさらに学びを深めることとなった。／・同期の院生たちとの交流や教授方との会話など知的好奇心を刺激されてばかりであった。／・仲間ができたこと。/他職種の人との交流の中に多くの学びがありました。／・職種や年齢に様々な人たちと交流ができ、それぞれの世界についてのお話をたくさん聞くことができた。論文作成の時はともに励まし合いながらできて楽しかった。</p> <p>・ゼミの時間は他の院生と先生と共に色々な視点から話し合いをすることがとても楽しくもあり、学びにもなりました。行き詰まった時にヒントをもらえ、また頑張って書こう!と思える時間でした。／・ゼミの中で色々な話ができたと。色々な分野の方と知り合えたこと。／・先生や仲間と美味しいものを食べながら語り合えたことです。本当にお世話になりました。ありがとうございました。</p> <p>・最後まで諦めずに取り組んで良かったです。皆様の支え、ご指導のおかげです。／・なかなか論文が完成しなかったが、なぜ合格しないのか(OK がもらえないのか)、自分の弱点がよく分かりました。／・学ぶ楽しさを日々味わうことができた。</p> <p>・日曜日に情報処理室が利用できるとありがたいです。／・図書館の利用やパソコンが自由に使用できることは大変ありがたかったです。二月より中央図書館工事のため、利用不可となってしまいましたが、最終提出まで利用できるとよかったです。／・図書館や院生室など活用し、自分なりに研究に取り組めた。</p> <p>・6 限目の時間に間に合わずで、そのことが充実できなかったです。</p>	<p>様々な他職種の方々と、あるいは同業種であっても異なる職場の方々との交流や切磋琢磨、それを通しての仲間づくりは、自分の実践を振り返る貴重な機会であったと思います。今後に活かしていってください。</p> <p>働きながらの修士論文の作成も、さぞかしたいへんであったろうと思います。教員も人間ですので焦って指導してしまうこともあり反省するのですが、社会人院生の'大人の対応'により、助けられている部分もあります。教員も皆さんからたくさん学んでいることを付け加えておきます。ありがとうございます。</p> <p>要望として、日曜日の情報処理室の使用と6限の授業が挙げられております。対応として、情報処理室については原則、日曜日の使用は認めておりませんが、院生控室に統計ソフトの入ったコンピュータとプリンターを設置しましたので、そちらを使用することができるようになっております。6限の授業(18時10分開始)に間に合わないということは開設以来の課題です。遅刻や欠席について、教員は皆さんの仕事の都合を考慮して柔軟に対応していますが、皆さんは、時間的に聞くことができない授業内容も生じることかと思えます。コロナ禍でリモート授業ができる設備やソフトも整ってきているので、そうしたツールの活用も考えていきます。</p>
---	---------------------------------	-----	---	--

アンケート結果(4年比較)



アンケート結果(4年比較)

